第30回宮城県高等学校総合文化祭

第42回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会規定（実施要領）

令和　5年 9 月 11 日
宮城県高文連放送専門部

１．目的

（１）校内放送に関する関心を高め，その技術向上を図る。

（２）作品や原稿の作成を通して自らの郷土を新たな視点て゛見つめ直すなど，校内放送の健全な育成と21世紀を創る高校生の豊かな人間形成を目指す。

２．実施部門と出場者・出品数

Ｎｏ．	部　門　名	各校出場者数・出品数
1	アナウンス部門（ＮＨＫ杯規定，総文祭規定）	制限なし＊
2	朗読部門（ＮＨＫ杯規定，総文祭規定）	制限なし＊
3	オーディオメッセージ（ＡＭ）部門	各校２作品以内
4	ビデオメッセージ（ＶＭ）部門	各校２作品以内
5	ラジオキャンペーン（ＲＣ）部門	各校３作品以内
6	テレビキャンペーン（ＴＣ）部門	各校３作品以内

＊同一生徒が，アナウンス部門と朗読部門双方にエントリーすることはできない。

３．参加資格

県内各高等学校，特別支援学校高等部の1・2年生及び，中等教育学校後期課程の4・5年生。ただし，定時制課程の場合は，3年生までの参加を認める。

４．参加規定

本資料「第42回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会規定（実施要領）」による。

５．参加費

（１）アナウンス部門，朗読部門・・・・・・・・・・・ 800円／1名

（２）オーディオメッセージ部門，ビデオメッセージ部門，ラジオキャンペーン部門，テレビキャンペーン部門・・・・・・・・・・・・1,400円／1作品

６．大会日程及び会場等

期　日	内　容	会　場	備考
9月 11日（月）	顧問・生徒代表者会議	仙台市立仙台商業高等学校	

10月　3日（火）	参加申込・抽選会	宮城学院高等学校	
10月21日（土）	アナウンス部門・朗読部門予選	宮城県仙台二華高等学校	限定公開
10月26日（木）	番組作品受付	日立システムズホール仙台	
11月　1日（水）	ラジオキャンペーン（RC）部門予選 テレビキャンペーン（TC）部門予選	宮城学院高等学校	非公開
	オーディオメッセージ（AM）部門予選	仙台白百合学園高等学校	
	ビデオメッセージ（VM）部門予選	宮城県仙台三桜高等学校	
11月　11日（土）	全部門決勝大会	仙台白百合学園高等学校	限定公開

7．参加申込およびアナウンス・朗読部門抽選

（1）日時　令和5年10月3日（火）15:00厳守（※準備でき次第，早めに受付のみ開始）

（2）会場　宮城学院高等学校（※抽選は，15:00以降に行う）

（3）提出物

①参加申込書1部

（ア）参加申込書（エクセルファイル形式）を，宮城県放送専門部ホームページからダウンロードして

おく。同ファイルは9月15日（金）頃にホームページ上にアップする予定。

宮城県高文連放送専門部HP：https://sites.google.com/site/miyagihousou/home

（イ）ダウンロードした参加申込書に必要事項を入力し，名簿係（多賀城高校　加美山先生）まで，9月 28日（木）12:00までにメール添付にて送信する。

※名簿係のアドレスは，ファイル内に記載する。

（ウ）10月 3日（火）当日は，入力・印刷した参加申込書を1部持参すること。

（エ）参加申込書提出後の記載内容の変更は，認めない。

②参加費

③アナウンス部門・朗読部門：原稿を2部提出

原稿の提出がない場合は，エントリーは認めない。

（4）留意点

①アナウンス部門及び朗読部門の出場順の抽選は，10月 3日（火）の参加申込み終了直後に行う。

②10月 3日（火）当日に参加できない場合は，9月 28日（木）12:00までにメール添付にて参加申込書を送信するとともに，参加費を現金書留にて事務局に郵送する（入力した参加申込書同封）。アナウンス・朗読原稿についても，9月 28日（木）12:00必着で事務局に郵送のこと。なおこの場合，アナウンス部門及び朗読部門の出場順の抽選は，事務局が代行する。

③番組部門のみの参加の場合，参加費は10月3日（火）に会場まで参加申込書とともに持参するか，事務局へ9月28日（木）12:00必着で現金書留にて郵送する（入力した参加申込書同封）。

8．アナウンス・朗読部門予選・・・・上履きを持参すること。

（1）日時　令和 5年10月21日（土）

（２）会場　宮城県仙台二華高等学校

（３）日程

8:50 ～ 9:20　受付

9:30 ～ 9:50　開会行事

10:00 ～ 12:30　朗読部門審査

13:00 ～　アナウンス部門審査員打合せ

13:30 ～ 15:30　アナウンス部門審査

16:00 ～　閉会行事（成績発表・諸連絡）

16:20 ～　決勝大会抽選

※ スマホでの計時は不可（決勝大会も同様）

※ 結果はHPに掲載して報告する。

10. 番組部門の作品受付

（１）日時　令和 5年10月26日（木）15:00～

（２）会場　日立システムズホール仙台

（３）持参するもの

①作品

審査用データUSB１本。複数の作品がある場合も部門ごとにフォルダーを作成し，１本に収める。

応募票を貼り付けた封筒に入れてくること。

②番組部門：番組進行表1部

提出する書類はチェック表を用いて必ず確認し，権利処理一覧表を必ず添付すること。また，

使用した全ての著作物の使用許諾を証明する文書も，添付のこと。

③著作物の使用に関する「録音物使用明細書（JASRAC）」（必要に応じて）

※用紙は，JASRACのホームページからダウンロードすること。

※番組部門は，番組進行表に添付して提出。

※上記①～③について，いずれも提出時間を厳守すること。郵送等の場合は，10月25日（水）までに事務局必着とする。

【部門ファイル名】

オーディオメッセージ部門	AM01作品名
ビデオメッセージ部門	VM01作品名
ラジオキャンペーン部門	RC01作品名
テレビキャンペーン部門	TC01作品名

11. 決勝大会

（１）日時　令和 5年11月11日（土）

（２）会場：仙台白百合学園高等学校

仙台市泉区紫山1丁目2-1

（３）日程　9:00 ～ 9:20　受付

9:10 ～　審査員打合せ

9:30 ～ 9:40　開会行事

9:50 ～ 10:40　アナウンス部門

10:55 ～ 11:45　朗読部門
12:45 ～ 13:45　ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門
14:10 ～ 15:00　オーディオメッセージ部門
15:20 ～ 16:00　ビデオメッセージ部門
16:30 ～　閉会行事

12. 審査

（1）審査方法

①アナウンス部門及び朗読部門については，実演で審査する。

②番組（オーディオメッセージ・ビデオメッセージ・ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン）部門については，提出されたメディアの再生で審査する。

（2）審査員

①予選審査

専門部常任委員及び県内高等学校放送部（委員会）顧問の中から，専門部長が委嘱する。

②決勝審査

県内報道機関（放送局）の専門職及び，県内教育機関の教育職等から，専門部長が委嘱する。

（3）審査基準

テーマ・内容・制作技術等の総合的判断によるが，校内放送であることを前提とする。

13. 決勝進出及び表彰について

下表の通り。

No	部　門	決勝進出	最優秀賞	優秀賞	優良賞	奨励賞	入選
1	アナウンス	20名以内	1名	2名	9名	8名	若干
2	朗読	20名以内	1名	2名	9名	8名	若干
3	オーディオメッセージ	6作品以内	1作品	1作品	4作品	－	若干
4	ビデオメッセージ	6作品以内	1作品	1作品	4作品	－	若干
5	ラジオキャンペーン	10作品以内	1作品	2作品	3作品	4作品	若干
6	テレビキャンペーン	10作品以内	1作品	2作品	3作品	4作品	若干

※キャンペーン部門については，指定のキーワード「シン」に沿って制作すること。

※予選通過者（作品）については速やかに該当校にＦＡＸで通知するとともに，専門部Webページに掲示する。

14. 上位大会への推薦について

下表の通り。

No	部　門	東北大会	全国総文祭
1	アナウンス	12名以内	3名以内（優秀賞以上）
2	朗読	12名以内	3名以内（優秀賞以上）
3	オーディオメッセージ	－	1作品以内（最優秀賞）

4	ビデオメッセージ	－	2作品以内（優秀賞以上＊）
5	ラジオキャンペーン	6作品以内＊	－
6	テレビキャンペーン	6作品以内＊	－

＊ビデオメッセージ部門の全国総文祭への推薦は，各校1作品までとする。

＊キャンペーン部門の東北大会への推薦は，各部門1校2作品までとする。

15. 各部門出品基準

（１）アナウンス部門（ＮＨＫ杯放送コンテスト規定）

テーマ・内容	自校のニュースや解説など高校生活を語る若者の声を内容とし，原稿は自作したものに限る。
規定時間	１分10秒以上１分30秒以内でアナウンスする。（エントリー番号及び氏名を含む。学校名はアナウンスしない）
原稿	①原稿は別紙様式1により作成し，参加申込の際に2部提出する。 ②提出後の原稿の変更は認めない。 ③用紙は，「宮城県高文連放送専門部HP」からダウンロードして使用する。この用紙以外は認めない。 ④判型はA4二つ折り（袋とじ）で，2カ所を綴じ仕上がりをA5とする。 ⑤右下（　）にページ数を記入のこと。 ⑥規定の欄に**ア**「NHK杯規定」と記入すること。

（２）アナウンス部門（全国総合文化祭規定）

テーマ・内容	郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を作成し，発表する。
規定時間	１分10秒以上１分30秒以内でアナウンスする。（エントリー番号及び氏名を含む。学校名はアナウンスしない）
原稿	アナウンス部門（ＮＨＫ杯放送コンテスト規定）の原稿の項①～⑤に同じ。 ⑥規定の欄に**イ**「総文祭規定」と記入すること。

（３）朗読部門（ＮＨＫ杯放送コンテスト規定）

作品	第71回ＮＨＫ杯全国放送コンテスト指定作品または，下記⑸を除く指定作品の作家の作品の中から１編を選び，朗読する。作品の改変は認めない。抽出は文頭から開始し，文末で終了すること。なお下記①②は，選定した収録作品の各タイトルを作品名として読むこと。 ＜参考：第71回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト指定作品＞ ⑴「泥流地帯」　三浦綾子 著（新潮文庫） ⑵「小さな幸せ46こ」　よしもとばなな 著　（中公文庫） ⑶「レキシントンの幽霊」　村上春樹 著　（文春文庫） ⑷「チップス先生、さようなら」　ジェイムズ・ヒルトン著　白井朗　訳（新潮文庫） ⑸「大鏡」　（出版社は問わない） ※電子書籍不可。抽出は文頭から開始し，文末で終了すること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。文中の（　）内も読むこと。（読み仮名・訳者注を除く）
規定時間	1分30秒以上2分以内。朗読のはじめにエントリー番号・氏名・作者名（訳者名は読まない）・作品名を読み，それらを含めて規定時間内におさめること。学校名はアナウンスしない。
原稿	アナウンス部門（ＮＨＫ杯放送コンテスト規定）の原稿の項①～⑤に同じ。 ⑥規定の欄に**ア**「NHK杯規定」と記入すること。 なお上記指定作品⑴～⑷については，原稿表紙に抽出部分の開始ページを記入する。

（４）朗読部門（全国総合文化祭規定）

作品・内容	①郷土（所属する学校のある都道府県内）にゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿とし，発表する。
規定時間	1分30秒以上2分以内。朗読のはじめにエントリー番号・氏名・作者名（訳者名は読まない）・作品名を読み，それらを含めて規定時間内におさめること。学校名はアナウンスしない。
原稿	アナウンス部門（ＮＨＫ杯放送コンテスト規定）の原稿の項①～⑤に同じ。 ⑥規定の欄に**イ**「総文祭規定」と記入すること。

（５）オーディオメッセージ部門

テーマ・内容	①郷土（所属する学校のある都道府県内）に関する話題を全国の高校生に伝える内容の作品とする。ドキュメンタリー形式，ドラマ形式など手法は問わない。 ②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし，提出後のタイトル，内容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は4分以内。

制作様式	①作品はMP3形式で作成し，データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ，別に定める様式3の応募票を貼付すること。 ②ステレオ音声で収録すること。
番組進行表	番組進行表については、表紙は別紙様式2-1，2ページ以降は様式2-2によるCUEシート，以下原則として様式2-3権利処理一覧，様式2-4音源使用許諾申請書，様式2-5取材許諾・著作物等ご提供のお願い，の順序にそろえて綴じる。著作物の許諾等については，第70回ＮＨＫ杯放送コンテストの規定に従うこと。判型はA4　　縦判・左上1カ所綴じとし，1部作成する。
備考	作品の再生は主催者が行う。

（６）ビデオメッセージ部門

テーマ・内容	①郷土（所属する学校のある都道府県内）に関する話題を全国の高校生に伝える内容の作品とする。ドキュメンタリー形式，ドラマ形式など手法は問わない。 ②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし，提出後のタイトル，内容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は4分30秒以内。
制作様式	①作品はMP4形式（NTSC規格，アスペクト比は16:9，H.264コーデック，HD画質以下【解像度1080[1920×1080]以下】SD画質も可。メニューは付けない）で作成し，データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ，別に定める様式3の応募票を貼付すること。 ②作品の前後に5秒ずつ，指定のテストパターンの静止画を入れること（カットイン・カットアウトで）。テストパターンは，この様式以外認めない。学校名を入れる等加工はせず，必ず静止画・無音とする。 ③著作権のある映像を使用した場合は，該当する画面上に出典をテロップで表示すること。 ④計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの始まりまでとする。 ⑤テレビ放送番組などの再録を主体としたものは，認めない。
番組進行表	番組進行表については、オーディオメッセージ部門の項に準じる。
備考	作品の再生は，主催者が行う。

（７）ラジオキャンペーン部門

テーマ・内容	1　キーワード「シン」を題材とした作品とする。ドキュメンタリー形式，ドラマ形式など手法は問わない。 ②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし、提出後のタイトル，内容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は30 秒以上1分00 秒以内。

制作様式	①作品はMP3形式で作成し，データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ，別に定める様式の応募票を貼付すること。 ②最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3秒 後に本編を開始する。 ③本編の最後の音から　3　秒後に，「制作は○○高等学校放送部(委員会)でした」のクレジッ トコールを入れる。クレジットコールには，BGM や効果音をつけないこと。 ⑤計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校放送部(委 員会)でした」の「制作」の「せ」の音までとし，その計測値から3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。
番組進行表	番組進行表については，ビデオメッセージ部門に準じる。
備考	作品の再生は主催者が行う。

（８）テレビキャンペーン部門

テーマ・内容	1　キーワード「シン」を題材とした作品とする。ドキュメンタリー形式，ドラマ形式など手法は問わない。 ②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし，提出後のタイトル，内容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は30 秒以上1分00 秒以内。
制作様式	①作品はMP4形式（NTSC規格，アスペクト比は16:9，H.264コーデック，HD画質以下【解像度1080[1920×1080]以下】SD画質も可。メニューは付けない）で作成し，データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ，別に定める様式の応募票を貼付すること。 ②作品の前後に5秒ずつ，指定のテストパターンの静止画を入れること（カットイン・カットアウトで）。テストパターンは，この様式以外認めない。学校名を入れる等加工はせず，必ず静止画・無音とする。 ③著作権のある映像を使用した場合は，該当する画面上に出典をテロップで表示すること。 ④計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの始まりまでとする。 ⑤テレビ放送番組などの再録を主体としたものは，認めない。 ⑥本編の前後に 5 秒間ずつ，事務局提供のテストパターン（改変不可）を入れる。テストパターンは無音とする。 ⑦計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。
番組進行表	番組進行表については、ビデオメッセージ部門に準じる。
備考	作品の再生は主催者が行う。

16. 大会参加にあたっての注意点

（１）応募規定を外れている作品は失格とし，審査の対象外とする。

（２）放送または公開する場合のことを考え，作品に使用した原作・音楽・写真・映像・新聞記事等の著作物についてはNHK杯規定（第70回大会要項号）に従い，必要な事項を様式2-3に明記すること。特にＶＭ・ＴＣ各部門については，写真・映像・新聞等に関しての使用許諾を制作校の責任で確認し，使用した映像のテロップ表示等についても，著作権（または，使用権）所有者と十分打ち合わせること。著作権上・人権上の問題が発生した場合は審査の対象外となり，放送・公開されない場合があるので注意すること。

（３）入選作品の著作権については，主催者に帰属する。ただし放送・公開・複製領布，その他の使用に際しては制作者側にその旨を連絡する。

（４）応募作品及び番組進行表のコピーを，手元に残しておくこと。

17．その他

（１）規定等に質問がある場合は，事務局に問い合わせて指示を得ること。問い合わせる場合は，緊急時を除きメールを用いることとし，連絡は必ず顧問を通して行うこと。

（２）大会の参加・出品等に関する各種様式は，宮城県高文連放送専門部のHPに9月15日（金）頃にアップする予定。その他，必要な連絡事項等を宮城県放送専門部のHPに随時掲載することがあるので，注意のこと。宮城県高文連放送専門部HP：https://sites.google.com/site/miyagihousou/home